

の 市報

みのかも

56年

8 月号

No.277

人口の動き

7月1日現在

総人口	39,559人
男	19,555人
女	20,004人
(昨年同月 +300人)	
世帯数	10,207戸
(昨年同月 +102戸)	



とじておくとべんりです



市民の広場

13日(木) 市役所玄関ロビー

9時から12時
市長と気軽に話
しください。

美濃加茂市民憲章

- 一 私たちは豊かな水と緑の恵みを受け、木霊
流れるようにびびりけやき未来をうみ美濃加
茂の市民です
- 一 私たちはのびのびと笑ったあかりあふれる
心豊かなまちをうみ美濃加茂の市民です
- 一 健康で働き心豊かな家庭をつくりま
す
- 一 まより守り、いのちのあかりあふれる
よきまちをつくりまします
- 一 自然を、いのち環境を大切に守り、のび
やかなまちをつくりまします
- 一 夢をもち、正しく強く生き、青少年の
育つまちをつくりまします
- 一 教養を深め、文化の香りを高いまちと
します

たのしき満載 親子バス

親と子の夏休みのふれあい
と市内を勉強してもらう親子
バスがはじまりました。

7月・8月の2ヵ月間に計10
回、たのしさを満載して走り
ます。

農地の有効利用

農家意向調査結果より

市農業の現状

進む兼業・高齢化

このほど市農業の現状と農家の意向調査結果がまとまりました。農業の現状については、昨年行われた一九八〇年世界農林業センサスの集計結果に各種統計資料を加えてまとめたものです。

また、農家の意向については、同年春実施した「新しい農村づくりに関するアンケート調査結果」を集計し、農家自身が自分の農業の現状をどのように見、今後どうしたいかを尋ねました。

このうち、本市の農業の主な特徴と、これからの農業に対する農家自身の考え方の一端を紹介します。

農家戸数は減少

昭和五十年から五十五年までの五年間に、農家戸数は百二十七戸、四・三パーセント減りました(表一)。

また、農業に従事している人のうち、六十歳以上の人の占める割合は、男で六十・六パーセントで、五年前にくらべ五パーセント余りも増えており、確実に高齢化が進んでいることを物語っています。

田畑別の農家一戸当り経営耕地面積は表二のとおりですが、田畑合計した一戸当り経営耕地面積でも五十七・八アールと少く、米や露地野菜などではとういてい食べて行ける規模ではありません。従って表一のように、大部分を農外収入に頼る第二種兼業農家の割合は八十四・八パーセントを占めています。

また、この経営耕地面積も宅地化などによって年々減少しており、五年間で七・六パーセントも少くなっています。しかし、一方では

経営規模の大きな農家も少しずつ増えてきており、売買や貸し借りなどによって小規模から大規模経営農家へ、わずかながら農地の移動する傾向が見られます。

市では、これからの農業の振興をはかるため、農家自身の考えている地域農業の現状と問題点について昨年、「新しい農村づくりに関するアンケート調査」を実施しました。

この調査の結果は、今後各地域の農業の将来方向を検討する基礎資料として利用することになっていますが、その中から目立ったところを取りあげてみますと……

農家の標準的な世帯員数は六人となっていますが、そのうち主として農業に従事している人

主婦や老人が従事

市では、これからの農業の振興をはかるため、農家自身の考えている地域農業の現状と問題点について昨年、「新しい農村づくりに関するアンケート調査」を実施しました。

この調査の結果は、今後各地域の農業の将来方向を検討する基礎資料として利用することになっていますが、その中から目立ったところを取りあげてみますと……

農家の標準的な世帯員数は六人となっていますが、そのうち主として農業に従事している人

市では、これからの農業の振興をはかるため、農家自身の考えている地域農業の現状と問題点について昨年、「新しい農村づくりに関するアンケート調査」を実施しました。

この調査の結果は、今後各地域の農業の将来方向を検討する基礎資料として利用することになっていますが、その中から目立ったところを取りあげてみますと……

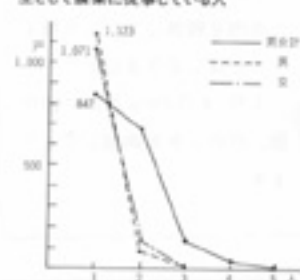
農家の標準的な世帯員数は六人となっていますが、そのうち主として農業に従事している人

(表一) 地区別・専・兼業別農家戸数 (単位: 戸)

地区	大田	古井	山2上	韓屋	加那	伊深	三和	下和	計
総農家戸数	351	448	385	540	359	192	170	493	2,938
	308	423	356	502	361	217	161	483	2,811
専業	14	23	37	19	27	4	10	34	168
	12	25	42	20	31	6	12	31	179
第1種兼業	31	43	114	70	100	9	30	80	477
	13	15	81	42	51	4	14	27	247
第2種兼業	306	382	234	451	232	179	130	379	2,293
	283	383	233	440	279	207	135	425	2,385

上段 50年 下段 55年

(図一) 主として農業に従事している人



望まれる



あとつぎのある農家は――

(表-3)

家の農業のあとをつぐ人の有無

あとつぎの有無	回答者数	比率
ある	896	42.0%
ない	256	12.0
わからない	982	46.0
計	2,134	100.0

家の農業のあとをつぎの有無については、いると答えた農家は四十二パーセントで、半数以上の農家はあとつぎが決まっていけないわけだ。さらに、あとつぎのいる農家の中でも、そのあとつぎ予定者の大半は現在他産業に従事しており、現在すでに主として農業に従事しているあとつぎ予定者はわずか三割しかないのが現状です。

あとつぎが決まらない理由はさまざまですが、農業の将来を担う人が少いことは大きな問題です。

将来、農業をどうしたいか――

自分の家の農業について将来どうしたいかという質問に対しては、七十七パーセントが現状のままと答へ、規模縮小または農業をやめたいと答えた農家は十五パーセントに上っています。(図-二)

図-2 将来農業をどうしたいか

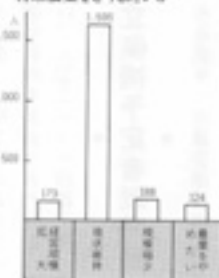


図-3 農業をやめたいあるいは縮小したい理由



市はこう考えています

農業の現状と意向調査の結果を基とした 市農業振興の基本方向

農産物の生産量と所得は、米をはじめとして、需給のアンバランスなどによって低迷を続けており、これが農家の経営意欲をそいでいます。農業化の進行・高齢化現象は、経営規模が小さいことによる必然的な現象ともいえます。しかし、本市の場合はこのような農家が大部分を占めているため、これらの農業振興のあり方を考える必要があります。

・木曾川右岸用水を活用した安定的な作物の作付体系を確立する

とともに、兼業農家が畑地を利用しやすいような作物の選定と普及をはかる。

・野菜等の計画的な作付けと集出荷の合理化を図り、可成公設市場の活用により、所得の増大をはかる。

・兼業農家で手間がなく作物が作れない農地を、規模拡大希望農家へ賃貸借等で集積する。

・稲作については、良質米の生産を推進するとともに、生産コストの低減をはかる。

・畜産・養蚕等については、経営の合理化によって価格の低迷と生産調整の危機を乗り切る。

以上を施策の基本的な方向として、各地域ごと、各生産組織ごとに問題解決の方法を検討し、必要に応じて補助事業等を適用しつつ、農業振興を図ることにしています。

第26回市消防操法大会

伊深

総合の部優勝 第6分団

より速くより正確に



第二十六回市消防操法大会が六月二十一日西総合グラウンドで開かれ、より速くより正確にと、各地区の消防団員らが日頃の成果を競い合いました。

▼総合の部

優勝 第六分団

準優勝 第四分団

三位 第七分団

▼自動車ポンプの部

優勝 第二分団一班

▼小型動力ポンプの部

優勝 第三分団一班

準優勝 三班

三位 第六分団一班

四位 三班

五位 第七分団一班

▼個人表彰

(自動車ポンプの部)

指揮者 藤井秀男(第二分団一班)

一番員 長谷部宏()

二番員 渡辺 薫()

三番員 日比野春美()

四番員 佐々木博司(第一分団一班)

(小型動力ポンプの部)

指揮者 渡辺耕平(第二分団二班)

一番員 村瀬繁美(第四分団一班)

二番員 中島博司(第三分団一班)

三番員 山田修三()

太田宿がポスターに



飯田・根尾間が国道昇格

このほど飯田・根尾間が国道昇格し、国道四一八号線になりました。

昭和五十二年十一月、飯田・大野間国道昇格並びに整備促進期成同盟会が発足し、運動を展開してきましたが、今年四月、昇格により無料で工事ができることになりました。

第四回 納涼夏まつり

サマーカーニバル

花火大会

美濃加茂踊り大会

- とき 8日(土)11~9時
- ところ 駅前通り
- 催し物

- ①ワゴンセール大特売
- ②全国チンドンマンパレード
- ③素人カラオケ大会
- ④一斉もち投げ大会
- ⑤渡良踊り大会

- とき 9日(日)8~8時40分
- ところ ライン河畔
- 催し物 (雨天・増水順延)

スターマイン・仕掛・打上花火



- とき ライン公園
- ところ

- 10日(月)7時30~10時 親子踊り大会
- 11日(火) " "
- 12日(水) " "
- 13日(木)7時30~12時
- 14日(金)7時30~翌2時
- 15日(土)7時30~翌5時(微夜踊り)

(グループ踊り審査)

//盆おどりの花//

ミス美濃加茂きまる

盆おどりの花・ミス美濃加茂踊りのみなさんが次のとおりきまりました。

▼太田地区

正村由美子・炭田みゆき・若宮妙子・村瀬小百合・中島真奈美・堀田香利・渡辺ひとみ・石原富美江・金森聖子

▼古井地区

梅田敦子・高橋明美・渡辺紀子・渡辺直美・岡田弘子・酒向智子・伊佐治美智

▼山之上地区

石原晶子・遠藤真美子・藤井ゆかり

▼下米田地区

森玲子・佐合たかみ・佐合幸代・渡辺真奈美・長谷川直美

▼伊深地区

堀田由美子・小林五月

美濃加茂踊りへいらっしやい

ミス美濃加茂踊りのみなさん





初代女王に渡辺さん

ミス日本ライン

観光都市美濃加茂を代表する美女を選ぶ「第一回ミス日本ラインコンテスト」が七月五日文化会館で開かれました。

コンテストには、県外からの参加者もあいつぎ、応募者は六十三名、容姿・均整美・健康美・教養など厳しい審査をおこない、次のみなさんが選ばれました。

▽ミス日本ライン

渡辺泰子（市内川合町）

▽準ミス日本ライン

飯田京子（市内下米田町）

鈴木由美子（可児郡可児町）

桂川ひとみ（名古屋市瑞穂区）

ミス日本ラインの四名は、今後一年間、中部地方を中心とした各地への観光キャンペーンに同行、日本ライン下り、果樹園などの観光PRのためのキャンペーンや写真コンテスト・サイン会などに参加、観光大使としての役目を果たすことになり、観光美濃加茂の期待が集まっています。



準ミス日本ライン
飯田京子さん



準ミス日本ライン
桂川ひとみさん



準ミス日本ライン
鈴木由美子さん



ミス日本ライン
渡辺泰子さん

自治会親善野球大会

第十四回自治会親善野球大会を次のとおり開きます。

●とき 8月23日、9月6日、

13日（予備20、27日）

●ところ 前平総合グラウンドほか
参加希望チームは、所定の申し込み用紙に所属、自治会長の記載証明をうけて、8月9日（日）午後5時までに中濃体育館（⑤三二四一）まで。

なお、各町連絡所へ提出する場合は7日（金）の午前中までに提出してください。

●ただし、申し込み書以外のもの、又は期限に遅れたものは受け付けません。

▼代表者会議

●とき 8月17日（日）午後7時30分

●ところ 中体2階武道場

代表者会議には、各チームから必ず一名出席すること（欠席の場合、参加をとり消します）

お知らせ



スポーツ教室に参加を

体力づくりと健康保持を目的としたスポーツ教室に参加しませんか。

▼卓球教室

●とき 毎週金曜日午後7時30分

●ところ 太田小体育館

●参加料 山手小体育館

●対象 六ヶ月で千円

●対象 一般成人

申し込みは、太田小体育館は橋本清子（⑥一七六七）さん、山手小体育館は茂角三（⑥四三八二）さんまで

●バドミントン教室

●とき 毎週水曜日午後7時30分

●ところ 東中体育館

●参加料 一ヶ月五百円

●対象 一般成人

申し込みは、高井芳夫（⑥四〇八一）まで

●レクリエーションバレー教室

●とき 毎週火曜日午後7時30分

●ところ 西中体育館

●参加料 六ヶ月千円

●対象 一般成人

申し込みは、沢野雅良（⑥二一〇一）さんまで

われら仲間たち

若者たちのよき理解者に

(15)

加茂BBS会



今年九月で三年目を迎える「加茂BBS会」は、昭和五十三年九月、県下二十二番目の地区会として発足しました。

BBSとはBig Brothers and Sisters Movementの略で、戦後直後の混乱のさ中に発足、今や、生活環境が多様化する中で青少年の非行や犯罪が大きな問題となり、こうした社会の状況から青少年が立ち直り、お互いに励ましあうて正しい道を歩こうというものです。

現在、会員は東は白川町から西は坂祝町の若者三十余名で構成、月二回の定例会のほか、七月一日には保護司会と「社会を明るくする運動」を展開、このほど同会の機関紙も創刊され活動も軌道にのってきています。

とかく堅く思われがちな同会ですが、楽しいキャンプ研修、スキー研修などで会員の融和も計っています。

近年の非行問題の増加のおり、同会は加茂郡・美濃加茂市の中学二年とその父兄を対象に「非行問題についての意識調査」をし、若者たちの心の悩みの分析に着手、この結果をもとにした今後の活動が期待されるところです。同会では仲間を求めています。

希望者は会長の宮口誠（㊦一五九六）さんまで。

福祉年金証書の提出を

福祉年金受給者は、毎年八月に前年の所得についての所得状況の審査を受けることになっています。

今年も八月の支払いを受けたあと福祉年金証書および印鑑を市役所（太田・下吉井地区）または、各連絡所（太田・下吉井以外の地区）へ提出してください。

なお、年金証書は十一月十一日から、お返しする予定です。

アルミカンの回収にご協力を

回収方法

一、皆さんの家庭内に出るアルミ缶や付近（道路、溝、公園、グラウンドなど）にあるアルミ缶を集め

二、ビニール袋かダンボール箱に入れて

三、町内の不燃物収集場所へお出してください。

回収日

八月二十八日（金）に回収しますので、当日の朝八時三十分までに出してください。

太田が

環境浄化重点地区に

少年に悪影響を与える有害な環

境の浄化をはかる「環境浄化重点地区」に太田地区が本年度県警察本部から指定を受けました。

同地区では推進協議会が発足し、清掃活動等が開始されました。

▼会長 美濃輪忠興（太田小P会長）

▼副会長 林隆幸（西中P会長）

▼委員 小原基宏（長）、佐光典（副）、平松洋子（副）、佐藤政子、吉村秀二、青山映夫、熊崎勝美、伊藤武志、林順子、天瀬沢夫、二村博三、西部好喜、中嶋光春、板津昌克、平林富夫、若宮洋二、安田慎子、星野初江、海老信子、関宮瑞夫

歌の好きな女性 集まれ！

美濃加茂主婦コーラスでは、歌の好きな女性を募集しています。

●練習日 毎週日曜午後7時～9時

●練習会場 市文化会館

入会希望者は、河村紀美子（㊦六九〇）まで。

川を美しく

雑草や不法投棄のごみが河川にめだち、川の美化をそねねています。

思わぬ災害も起りますので、お互いが気をつけましょう。

自然を たずねて

常緑のつる性植物 ⑬

テイカカズラ・サネカズラ



テイカカズラ



サネカズラ

私たちの周囲に見られるつる性の樹木の中で、香りや、実の美しさなら、テイカカズラやサネカズラに優るものはないでしょう。

テイカカズラは、古い神社の杜叢の太木にからみ付いていたり、岩場などにも付着しています。けれど、よほど大きく成育しないと花が咲きません。小さいうちは、葉も小さく、別の種類かと思うほどです。よくツルマサキとまちがえるほどです。ですから、昔の人は、マサキカズラとも呼んでいました。初夏、純白の花が咲きます。近づくと、香気が漂います。果実は、特徴ある形をしていますから、すぐ見つけることができます。マメの果実に似ていますが、マメ科ではありません。キョウチクトウの仲間です。種子は、タンポポのように長い白い毛を持っています。

同じような場所に、サネカズラも生育しています。葉は、テイカカズラより大きく、肉厚です。花は目立ちませんが、果実は、赤くとても美しいものです。ただし、雌雄異株のため、一本だけでは実が付きません。実が美しいので、家庭でも栽培されているようです。別名、ヒナンカズラともいい、

百人一首にも

「名にしおはば 逢坂山の さねかずら 人にしられて
来るよしもがな」 三条右大臣
と唱われています。

テイカカズラも、サネカズラも暖かい地方の植物で、飛騨地方では見かけられない植物です。

市の木ムクゲ 市の花アジサイ 市の木ムクゲ 市の花アジサイ 市の木ムクゲ 市の花アジサイ

し尿浄化槽の 清掃点検を

し尿浄化槽の点検、清掃・消毒は法律で義務づけられており、最近の社会では、「生活環境をよくしよう」と強くきかけられています。市でもこうした現状により、「まちを美しくする運動推進会議」を設置し河川の汚濁状況をチェックしています。

しかし、この浄化槽からの汚れた悪臭のある水を流し、隣近所に大変迷惑をかけている人があり、あつとをたぢません。

このようなことは、お互いに義務を実行すれば防げることであり自分でできない人も、こうしたし尿浄化槽の維持管理について専門の知識を有する人に、委託をすればできるものです。

また、今年から維持管理を適正に行っているかどうかをチェックするために県では岐阜県公衆衛生検査センターを設置し、一年に一回検査をしなければいけないことになりました。

浄化槽の設置者のみなさんは、法の規定により正常な取扱いをして家庭のまわりの環境をきれいにしよう心掛けてください。

ご相談ください (秘密厳守)

高齢者職業紹介	毎月第2水曜日 1～3時	福祉事務所 (祝祭日は翌日)
内職相談	毎週月・水曜日 10～12時	商工観光課
心配ごと相談	毎週水曜日 1～4時	太田公民館
結婚相談	毎週土曜日 1～4時	太田公民館
愛のテレホン	⑤1110まで	福祉事務所 家庭児童相談室



親子バス

第51回	6日(水)	第55回	20日(水)
第52回	7日(木)	第56回	25日(火)
第53回	10日(日)	第57回	27日(木)
第54回	11日(月)		

今月の納期

8月31日限り

- 市民税 ②
国民健康保険 ④
国民年金 ③

